

3. 11から三年を迎えて

～3月11日は防災について家族で話し合いましょう～



東日本大震災から、もうすぐ3年が経過しようとしています。災害はいつ襲ってくるかわかりません。「もしものとき」に備えて、家族で普段から避難場所や安否確認の方法などを話し合うことが大切です。3月11日を「家族防災会議の日」として、各家庭で防災について話し合いましょう。

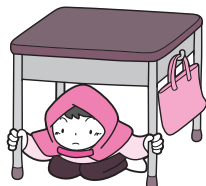
☎ 総務課危機管理室 (☎826-1111 内線2292)

会議のポイント！

地震のときには…

まず身の安全を

- 建物の中では机やテーブルなどの下に潜る。火の始末は、揺れが治まってから
- 外にいるときは塀・看板などから離れる
- 運転しているときは左側へ駐車する



家具の安全な配置と転倒防止

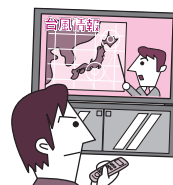
- 家具の配置換えによって、家の中に安全なスペースがつかれないか工夫する
- 家具の転倒防止や落下を防ぐ方法を考える



風水害のときには…

余裕を持って行動を

台風や大雨などの風水害は、あらかじめ天気予報などで予測できます。予報には十分注意し、防災情報を軽く考えず、常に最悪の状況を想定して、余裕を持って行動しましょう。



避難するときには…

- ブレーカーは下げ、ガスの元栓を閉じる
- 徒歩で避難する。車を離れるときは、鍵は付けたままで
- 慌てずに、落下物や破片に気をつける
- 狭い道・塀際・川べりは避ける
- できるだけ集団で、避難場所へ



防災 pick up ニュース！

100t型耐震性貯水槽



平成25年9月に土浦第二中学校の耐震性貯水槽設置工事が完了しました。耐震性貯水槽は災害などにより断水となった際に大容量の上水道を蓄える重要な給水設備で、市内には5基(合計容量500t)整備されています。

web防災会議



2月に市長と大岩田小学校のweb会議が行われました。テーマは市の防災について。子供達は災害が起きた際の避難方法や市の避難訓練、備蓄品などさまざまな質問をして、市長に直接答えてもらいました。

災害が起こる前に、ここをチェック!!

家族一人ひとりの役割分担

- ・ 日常の防災の役割と、災害発生時の役割の両方を決めておく。
- ・ お年寄り、乳幼児、障害者がいる場合は、誰が支援するか決めておく。

家屋の危険箇所チェック

- ・ 家の内外をチェックし、危険箇所を確認し合う。
- ・ 放置できない危険箇所は修理や補強の方法を話し合う。

災害時の連絡方法や避難場所・避難経路確認



- ・ 家族が離ればなれになったときの避難場所や安否確認方法、伝言ダイヤルなどを確認する。
- ・ 避難コースの危険箇所について話し合い、みんなで下見をしておく。

非常持ち出し品のチェックと入れ替え

- ・ 家族構成を考えながら必要な品がそろっているかをチェック。定期的に新しいものと取り替えましょう。



わが家の防災チェックシート

災害による被害を最小限にとどめるためには、家族が協力して普段から備えておくことが大切です。このチェックシートで、ぜひわが家の防災について確認してみてください。

⚠ 地震に備えて…

- ☐ ブロック塀の安全点検をしている
- ☐ ベランダに落下しそうなものは置いていない
- ☐ プロパンガスボンベは、鎖で固定している
- ☐ 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼った
- ☐ 消火器を用意して、使い方を確認した
- ☐ 家具類や大型電化製品の転倒防止措置をしている
- ☐ 家具の上に重いものや危険なものを置いていない
- ☐ ブレーカーやガスの元栓の扱い方を知っている
- ☐ カーテンは防災処理を施したものにしている
- ☐ 玄関や廊下には、家具や荷物を置いていない

非常用備蓄品(生活用品)

- ☐ カセットコンロ、耐火容器
- ☐ 予備カセットボンベ
- ☐ ろうそく、ランタンなど
- ☐ ライター、マッチ
- ☐ ガムテープ
- ☐ 軍手
- ☐ 石けん
- ☐ カイロ



非常持ち出し品

- ☐ 貴重品(現金、預金通帳、はんこ、保険証など)
- ☐ 非常食(乾パンや缶詰など)
- ☐ 飲料水(持ち運び用にペットボトル入り)
- ☐ 携帯ラジオ、懐中電灯
- ☐ 救急医療品、常備薬
- ☐ タオル、手ぬぐい、下着、靴下など
- ☐ トイレットペーパー、ウェットティッシュ
- ☐ ビニール袋

※避難時に両手が使えるように、リュックに入れておきましょう。また、メガネなど身につけるものは常に身近におきましょう!

⚠ 風水害に備えて…

- ☐ 瓦のずれやトタンのめくれを確認している
- ☐ 雨どいの詰まりや雨戸のガタつきを点検している
- ☐ 側溝のゴミや土砂を取り除き、雨水の排水を良くしている
- ☐ 浸水の心配がある場合は、土のうを用意している
- ☐ 災害に応じて、家の中で危険箇所を決めている
- ☐ 洪水避難地図や土砂災害避難地図を見やすい場所に貼るか、すぐに取り出せるところに保管している

非常用備蓄品(食料)

- ☐ 飲料水(1人あたり1日3リットルが目安)
- ☐ 給水用容器(ポリタンクなど)
- ☐ アルファ米
- ☐ 乾パン
- ☐ インスタントラーメン
- ☐ レトルト食品
- ☐ 缶詰(必要であれば缶切り)
- ☐ ビスケット
- ☐ チョコレート
- ☐ 割り箸、スプーン、フォーク、紙コップ、紙皿



※飲料水や食品は長期保存品にこだわらず、使いながら備蓄する工夫をしましょう

それぞれの事情に合わせて準備するもの

赤ちゃんがいる場合

- ☐ 粉ミルク、ほ乳ビン
- ☐ 離乳食
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 母子健康手帳

高齢者がいる場合

- ☐ 予備のメガネ
- ☐ 補聴器
- ☐ 大人用おむつ
- ☐ 薬

※必要なものは1人ひとり違います